

The Record 2019

vol.718

September 9



The Record 2019.9 vol.718

日本全国音楽のまち～金沢編～

「一般社団法人アーティストコモンズ」発足

「第26回日本プロ音楽録音賞」開催決定

9

September

CONTENTS

1 Monthly News Digest

特集

3 日本全国音楽のまち～金沢編～

特報10 「一般社団法人アーティストコモンズ」
発足「第26回日本プロ音楽録音賞」
開催決定

11 私の一枚 season 2

12 Data File

13 Monthly Production Report

14 GOLD DISC

Monthly News Digest

7/13 Saturday

「出張！IPカルチャー教室」 in中央区立教育センターにて 真正品、模倣品・海賊版を展示

7月13日、東京都の中央区立教育センター多目的ホールにて、『出張！IPカルチャー教室』が開催され、同イベント内にて、当協会もサンプルを提供した真正品、模倣品・海賊版などに関する展示が行われた。



中央区教育委員会では、毎年夏休みに小学校科学教室を実施しているが、本イベントはその一環として、公益社団法人発明協会と日本弁理士会関東会が協力して開催しているもので、今年は中央区内の小学5年生とその保護者の計23組が参加した。講師には日本弁理士会関東会から派遣された小屋迫利恵弁理士、松本慎一郎弁理士の2名が参加し、知的財産の大切さを学ぶ電子紙芝居と、工作教室が行われた。

また、会場内では関係機関、企業の協力により、ハンドバックや時計、玩具等の真正品、模倣品・海賊版に関する展示が行われ、訪れた親子は真正品と模倣品の見分け方や品質の違いについて、品物を手にとって熱心に比較していた。なお、真正品、模倣品・海賊版については、「中央区児童・生徒発明くふう展」開催期間中

の9月21日(土)にも同教育センターにて展示を予定している。

7/15 Monday

ACA「ほんと？ ホント！フェア in 秋田」開催

7月15日、秋田県秋田市のイオンモール秋田店にて、当協会が加盟する不正商品対策協議会(ACA)主催の「ほんと？ ホント！フェア in 秋田 ～海賊版は買わない！偽ブランド・偽キャラクターグッズは買わない！違法サイトは見ない！～」が開催された。

本イベントは、知的財産の保護と不正商品の排除を広く消費者に訴えかけることを目的としており、当協会はブランド品やゲームソフトも並ぶ「ホンモノ・ニセモノ比較展示」において、音楽CD・DVDの真正品・模倣品の提供や、著作権教育啓発用リーフレットの配布を行った。同イベントでは、ほかにも、秋田県警察音楽隊によるミニコンサートや、秋田県出身の声優でアイドルユニットi☆Risメンバーの茜屋日海夏さんを迎えた不正商品撲滅キャンペーン応援隊長任命式とトークショー、著作権・商標権に関する「ほんと？ ホント！〇×クイズ大会」、超神ネイガーによるスペシャルステージショー＆握手会といったステージイベントをはじめ、様々なプログラムが行われた。

当日は、家族連れなど約2,300人が来場し、盛況のうちに終了した。



7/16 Tuesday

第87回RIAJセミナー開催

7月16日、当協会の会議室において、第87回RIAJセミナーが開催された。



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人 日本レコード協会の登録商標です

今回のセミナーは、ひかり協同法律事務所弁護士 三上安雄氏を講師に招き、「労働法関連の法改正動向と実務対応」をテーマに実施。当日は、会員社のHRM部門、法務部門などを中心に約30名が参加した。

講演では、改正労働基準法の概要と施行後の状況や、現行法における判例、裁判例の動向、またハラスメント防止に関する法改正の動向、紛争解決、法改正に伴う実務上の留意点等について解説が行われた。

参加者からは、「非常にホットなテーマで、説明も具体的で実態に即しているのが非常にわかりやすかった」「判例の解説により、理解が深まった。特に、ハラスメント防止関連は参考になった」といった意見が多数寄せられた。



ACA「第8回 著作権を守ろう! ポスターコンクール」作品募集を開始

当協会が加盟する不正商品対策協議会(ACA)は、全国の小中学生を対象に著作権保護をテーマとした啓発ポスターコンクールの作品募集を開始した。締切は9月20日(金)。



2018年度最優秀作品賞

著作権侵害をはじめとする知的財産権の侵害は、デジタル・ネットワーク化の進展により、いまや国際的な問題のひとつとなっているが、その侵害防止には小中学生といった若年層から著作権の保護に対する認識をもつことが重要となる。本コンクールは、ポスター制作を通じて、若年層に対し広く著作権に対する保護意識を高めてもらうことを目的として2012年より実施されている。詳細はACAサイトを参照。

▶ACA <https://www.aca.gr.jp/>

ISUM対象楽曲が1万5千曲を突破

2019年上半期のリクエスト楽曲No.1はsumika「Lovers」



一般社団法人音楽特定利用促進機構(ISUM)は、同機構が提供するシステムを活用して簡単にプライダルで適法利用できる楽曲が1万5千曲を超えたと発表した。サービスを開始した2014年4月の対象楽曲約500曲から、およそ5年で30倍の増加となった。

また、2019年上半期に最もリクエストが多く寄せられた楽曲は、多数の要望を受けて2019年5月に新たに対象楽曲に加わった、4人組バンドsumikaの「Lovers」となった。同楽曲の作詞・作曲を手掛けたsumikaの片岡健太さん(Vo./Gt.)によるコメントは以下のとおり。

結婚式という、人生の一大イベントで、我々の音楽を必要として下さったことを、本当に幸せに思います。

2015年に突然僕の声が出なくなり、バンドは活動休止を余儀なくされました。休止期間中に、メンバーやスタッフチーム、sumikaに携わってくれる方々とどう向き合ってゆくのか。考え、言葉にして、作った楽曲がこの「Lovers」という曲です。

長い人生、色々なものを見て、色々な感情と付き合いながら、最後の最後には、

やっぱりあなたと一緒にいたい。光の方角へ導いてくれた大切なこの曲が、新郎・新婦の皆さまにとって、一生のお供になれることを心から願っております。(sumika 片岡健太)



Coming Next Artists シーズン2情報

音楽ナタリー内では、新たに以下の特集記事が公開中です。是非ご覧ください。

キュレーター対談

橋爪もも
(株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ)
キュレーター: mabanua

ディスクレビュー

MIYACHI
「WAKARIMASEN」
(ソニー・ミュージックレーベルズ)
レビュー: 渡辺志保

wacci
「別の人の彼女になったよ」
(ソニー・ミュージックレーベルズ)
レビュー: 辛酸なめ子

コバソロ
「歌うたいのバラッド」
(パップ)
レビュー: 森朋之

Survive Said The Prophet
「space[s]」
(ソニー・ミュージックレーベルズ)
レビュー: 秋摩竜太郎

▶Coming Next Artists シーズン2(音楽ナタリー内) <https://natalie.mu/music/pp/comingnextartists02>



NOW ON AIR
「RAINBOW'S BOX」
(バンダイナムコアーツ)
レビュー: 田中大

Lucky Kilimanjaro
「風になる」
(ドリーミュージック)
レビュー: 金子厚武

Rude-a
「LIFE」
(ソニー・ミュージックレーベルズ)
レビュー: CHICO CARLITO

日本全国音楽のまち～金沢編～

まちづくりに「音楽」の要素を取り入れた地域にスポットを当てながら、地域と音楽を愛する人々、ユニークな施設や事例を紹介するシリーズ第5回。

今回は「金沢蓄音器館」や「金沢工業大学 PMC」をはじめレコードにまつわる施設が目を引き、石川県金沢市にフォーカスする。

石川県金沢市

面積：468.64平方キロメートル 推計人口：464,427人（2018年4月1日現在）

石川県の県庁所在地である金沢市は、本州のほぼ中心に位置する中核市。大きな災害や戦災をまぬがれ、今なお歴史的な建造物が数多く残されている。日本三大名園の一つである「兼六園」をはじめ、受け継がれてきた伝統工芸の技術や、先進的なアート・建築など人気の観光スポットが点在しており、2015年の北陸新幹線開業後には観光客数が増加した。



金沢中心街周辺



17 レコード・ジャングル
1983年創業のレコードショップ。天井には劣化したLP盤やポスターが敷き詰められている



1 金沢蓄音器館
レンガで覆われたアンティークなデザインが特徴的な金沢蓄音器館



25 もつきりや
1971年創業の老舗ジャズ喫茶。幅広いジャンルのライブやセッション、レコードを楽しむ



18 レコード・ビーチパーティー
1997年創業の中古レコードショップ



15 金沢AZ
1992年創業のライブハウス。ペットボトルのラベルが各公演の仕様になっていることも



20 ESTACIO RECORDS
海外からの受注も多く、南アフリカ・イスラエルなどからも注文が入る



36 道草カフェ アルプ
「鱗JAZZ」と題した様々なジャンルのライブを開催している





JR金沢駅

金沢市広域

JR金沢駅 北鉄金沢駅



3 石川県立音楽堂
 駅前にある石川県立音楽堂はクラシック、邦楽、多目的の3ホールを併設する国内でもまれな施設



2 金沢工業大学PMC
 PMCが入る金沢工業大学ライブラリーセンター



38 BIG PINK [ロック]
 70年代の香りが漂うロック喫茶。約2万枚のレコードとCDを取り揃え、ライブ演奏も



兼六園



金沢21世紀美術館

🎵 金沢の音楽に関わるおすすめスポット

- 1 金沢蓄音器館 ※P5-6参照
- 2 金沢工業大学PMC (ポピュラー・ミュージック・コレクション) ※P7-8参照

ホール

- 3 石川県立音楽堂
- 4 金沢市アートホール
- 5 金沢市文化ホール
- 6 北國新聞赤羽ホール
- 7 金沢歌劇座
- 8 本多の森ホール (旧石川厚生年金会館)

ライブハウス、イベントスペース

- 9 DOUBLE
- 10 金沢GOLD CREEK
- 11 gateBlack
- 12 金沢EIGHT HALL

- 13 MANIER
- 14 DEF
- 15 金沢AZ
- 16 vanvanV4

レコード、CDショップ

- 17 レコード・ジャングル
- 18 レコード・ビーチパーティー
- 19 EXILE RECORDS
- 20 ESTACIO RECORDS
- 21 エブリデイ・レコード
- 22 魔法陣 (Mahoujin)

ジャズ喫茶やバーなどの飲食店

- 23 JAZZ SPOT 穆然 [ジャズ]
- 24 YORK [ジャズ]

- 25 もつきりや [ジャズ]
- 26 Folk酒Bar ばんけん [フォーク]
- 27 Music Bar MINSHIA
- 28 Music Bar JealousGuy
- 29 シークレフ
- 30 JAZZ & BAR RIVERSIDE [ジャズ]
- 31 Kanazawa Music Bar
- 32 ash
- 33 Spazio
- 34 スタージス
- 35 KANAME BAR & CAFÉ
- 36 道草カフェ アルプ [ジャズ]
- 37 jazz music dining bar NOEL [ジャズ]
- 38 BIG PINK [ロック]

Special Interview

古くて新しい蓄音器とSP盤の音を伝える

金沢蓄音器館

600台の蓄音器と3万枚のSP盤からなる「山蓄コレクション」を所蔵する金沢蓄音器館。館内には貴重な逸品が歴史の変遷とともにずらりと並び、試聴会「聴き比べ実演」が毎日行われている。近年はアナログレコードに触れたことのない世代の来館者も増え、多くの人々が訪れて未知の感動を得ている。この“古くて新しい音色”は音楽産業の過渡期になにをもたらそうとしているのか。八日市屋典之館長に、蓄音器の可能性を聞く。

城下町・金沢の風情を今に伝える伝統的な様式の商家建物が残る尾張町。この町の一角に金沢蓄音器館がある。

かつては生命保険会社だった洋館を改装した3階建ての館内では約150台の蓄音器（保有台数は600台以上）と、約3万枚のSP盤からなる「山蓄コレクション」を展示。蓄音器のやさしい音色にひかれ、たくさんの来館者が訪れる。

3階では明治、大正、昭和で活躍した蓄音器を、時代を追って展示。宮沢賢治が愛用した逸品も飾られるほか、そのメカニズムを学べるコーナーもある。2階ではエジソンが発明した蓄音器を振り出しに、技術改良により生まれた様々なタイプが並ぶ「聴き比べ実演コーナー」とともに、貴重なレコードコレクションが公開されている。実物のSP盤を蓄音器で再生する聴き比べ実演は毎日3回行われ、1階では月に数回、SP盤の鑑賞会やゲストを招いてのミニコンサートを開催。1927年米国製の自動再演ピアノも置かれ、毎週日曜日に3回、穿孔された紙ロールに名だたる演奏家の再現がされている。

金沢蓄音器館の歴史は、現館長の八日市屋典之氏の父であり、戦前から蓄音器店、レコード店を営んでいた浩志氏が昭和50年代のある日、捨てられていた蓄音器を持ち帰り、「直せばまだ鳴る…」と修理したことから始まった「山蓄コレクション」が契機となっている。文化的価値を守るべく、金沢市が山蓄コレクションを譲り受け、2001年に金沢蓄音器館は開館した。八日市屋館長は、修復した蓄音器が鳴ったときに浩志氏が見せた子どものような笑顔が忘れられないという。音楽のデジタル化が進む今、八日市屋館長は金沢蓄音器館を通じて、なにを見つめ、伝えようとしているのか。

—金沢蓄音器館を訪れるのは年配の方が多いイメージですが、今はいかがでしょうか。

オープンした頃は“昔、聴いていた音”のノスタルジーを求める年配の方が多かったのですが、今は若いお客様が訪れて、「こんなに優しい気持ちになれる音があるんだ」と感動し



聴き比べコーナーに並ぶ逸品たち。左から6台目に見えるのがエジソンの発明した蓄音器



陳列されたSP盤はデザインも秀逸。レーベルロゴからも音楽産業の歴史を知ることができる

てくれます。若い人にとって蓄音器の音は、ノイズのない綺麗な音と比べて“豊かで新しい音”なのです。「ハイビジョン映像ではなく、油絵」「顆粒だしの素ではなく、いりこ出汁の味」など様々な表現で感想を残してくれますね(笑)。とある音楽配信会社で働いている20代後半の女性は「どうしたら蓄音器のような豊かな音を配信できるかと考えました」と言ってくれました。ここでは音楽のエンドユーザーと直接触れ合えるので、自ずと皆が音楽に対して求めていることが見えてくるのです。

—とはいえ、豊かな音を今に伝える蓄音器もSP盤も古いものなのでメンテナンスがたいへんです……。

蓄音器のメンテナンスについて父に言われたのは「ゼンマイは強く巻くな。歯車に油をこまめに差せ。そうすればあと100年は持つ」ということ。普段使うような電化製品は、便利な反面、コードなどの劣化しやすい素材を使っているため寿命は短いです。またSP盤は何百回と聴くと溝が削れて鳴らなくなってしまうのですが、幸いたくさん寄贈していただいています。その多くは古く、カビが着いてしまっていますが、綺麗に落としてコレクションに加えさせていただきます。



3階のLPリスニングコーナーではサザンオールスターズのレコードに来場者たちが耳を傾けていた

—今はアナログレコードブームが起こっていると言われていますが、SPレコードの新たな可能性は？

知り合いの指揮者・井上道義さんからは「SPはいい音が鳴るから作って見たら」と言われています。また、作曲家の武

視聴会レポート

日本では西南戦争が行われていた1877年にエジソンが発明した円筒型蓄音器、ベルリナーの平円盤型蓄音器、朝顔型のラッパがついた蓄音器、そのラッパを管にしてボディに収めた卓上型蓄音器、「蓄音器の王様」と呼ばれたクレデンザ、ソニー創業者の盛田昭夫夫妻から八尾市屋館長の父・浩志氏が寄贈された巨大な蓄音器—E.M.G.マーク・テンBや手回しオルガンなど……、技術の発展を追いながら様々な蓄音器を用いて聴き比べは行われる。取材した日(7月9日)、16時の回に参加していたのは大阪、愛知、石川から訪れた30歳前後の女性たちと、イギリスからやってきたカップルで、八日市屋館長の含蓄とユーモアにあふれた解説と、迫力の音色に皆が引き込まれていた。SP盤から聴こえるのは、大正時代に録音された童謡の「うみ」、トスカニーニが指揮するイギリスBBCシンフォニーオーケストラの「舞踏への招待」、勝太郎の「伊那節」など、めったに聴けない“生音”。聴き比べ終了後に参加者が館長に曲名を確かめていたのはレス・ポールがギターを弾き、メリー・フォードが歌う「モッキン・バード・ヒル」。温故知新の場がここにあった。



金沢蓄音器館 館長
八日市屋典之

金沢市でレコード、オーディオ販売の卸、小売店を経営。2003年11月より金沢蓄音器館長に就任。2012年3月に歴史的音源アーカイブ推進協議会(HiRAC)より表彰、同年12月に日本オーディオ協会より「音の匠」特別功労賞を受ける。

満徹さんが学徒動員の勤労奉仕中にシャンソンの「聞かせてよ愛の言葉を」を聴いて衝撃を受け、音楽家を目指したというエピソードがあるのですが、そのSP盤を石川県立音楽堂に持ち込んで蓄音器でかけたところ、お客様から「すごい音だった」と大きな反応がありました。課題は多いですが、SP盤にも可能性はあると考えています。

金沢には蓄音器とSP盤を所蔵する金沢蓄音器館のほか、LPを中心としたレコードを所蔵する金沢工業大学のポピュラー・ミュージック・コレクション(PMC、p7-8にてインタビュー掲載)があります。SPとLP、いずれも今でも魅力が色褪せない文化的な財産ですので、金沢を“音楽のアーカイブの街”として打ち出せば、とも思っています。

—北陸新幹線の開通、海外からの旅行客の増加で今、金沢は観光都市としても盛り上がっています。そこでSPやLPの音は“金沢ならではの音楽”を象徴するものの一つになるのでは？

観光客の方は非日常を求めます。そこで雅な鼓の音や、蓄音器の音が聴こえてくる風景はいいですね。大事なことは“豊かな音”に対する矜持。いい歌、いい音色は音楽が好きな方にとっての思い出や日々の支えになりますから。その想いを伝えていきたい。ぜひ金沢蓄音器館で蓄音器とSP盤の豊かな音を聴いてみてほしいです。

金沢蓄音器館

【住所】石川県金沢市尾張町2-11-21

【公式ホームページ】

<https://www.kanazawa-museum.jp/chikuonki/>

【開館時間】10時～17時30分(入館は17時まで)

【休館日】年末年始(12月29日～翌年1月3日)

資料展示替えのための臨時休館



Special Interview

ポピュラー・ミュージックの豊かさを守り広め、デザインの意匠を研究に活かす

金沢工業大学 PMC (ポピュラー・ミュージック・コレクション)

ポピュラー・ミュージックの総合ライブラリーとして約25万枚のレコードをアーカイブする金沢工業大学ポピュラー・ミュージック・コレクション(以下、PMC)。技術革新とともに発展してきたレコード文化を研究に活用しながら、レコードに針を落とした瞬間のワクワク感を、世代を超えた音楽ファンに伝えてきた。その意義と取り組みを同大のライブラリーセンター 業務部 PMC運営室の深川いずみ氏に聞いた。

成熟した文化であり、音楽ファンを夢中にさせてきたレコード。そのレコードを鑑賞できる場を提供し、ジャケットデザインに込められた意匠を楽しみながら学び、かつ技術と文化の関係性を問い続ける契機となることを創設意図として、1992年、金沢工業大学PMCは誕生した。

きっかけはプロデューサーの立川直樹氏からの提案とコレクションの寄贈。PMC創立の反響は大きく、趣旨に賛同した全国の人々から寄贈を受けた愛蔵レコードのほか、創設当初よりPMCの発展を後押しした音楽評論家・福田一郎氏の遺品となったレコード、雑誌、書籍、グッズなどの膨大なコレクションが加わり、今では世界でも類稀な存在として高い評価を獲得している。

PMCではLPレコードを中心にEP盤、CD、SP盤などを約25万枚所蔵。約1万5千枚のLP等が配架されたフロアには全身で音楽を体感できるボディソニックも13台設置され、自由にレコードを聴くことができるほか、貴重なSP盤、書籍、雑誌等の視聴・閲覧も可能。PMCでレコードの魅力に触れる一般来館者も多く、創立から27年経った今、そのコレクションはさらなる充実を見せている。

—寄贈されるレコードは増え続けているとお聞きしていますが、現在の所蔵数は全部で何枚くらいでしょう？

おかげさまで寄贈して下さる方が多く、登録が済んでい

るレコードが251,305枚、未登録のものが約20万枚です(2019年3月31日現在)。これまでに寄贈していただいた方は延べ2千人にのぼりますが、地元・石川県の方からの寄贈が一番多く、次は東京の方です。御本人、あるいは親族の方の思い出が詰まった大事なレコードですので、PMCの施設を実際に見学されて「ここだったら安心して預けられる」と納得した上でご寄贈くださる方もいます。

PMCが多くの方の信頼を得る過程では、ミュージシャンの方々が賛同してくれたことも大きかったです。例えば、本学提供のラジオ番組『KIT Dream Discovery(※1)』に佐野元春さんや松任谷由実さんがゲスト出演してくれた際には大変反響がありました。番組はPMCのフロアにあるスタジオで収録したものです。現在そのスタジオでは、外部ディレクター指導の下で学生たちが選曲、台本執筆、トークを行う番組を制作して、放送を行っています(※2)。

—PMCでは学内インターン制度も充実しているそうですが、工業大学の学生とレコード文化との親和性、そのほかPMCや企画展などの関わりについては。

建築やプロダクトデザインを学ぶ学生たちがこのレコードジャケット群に触れることで、デザインや色彩感覚を育む上でいい影響を受けるのは間違いないですね。ほかにも機械



学生スタッフが選ぶジャケットセレクションも並ぶ



金沢工業大学
ライブラリーセンター 業務部
PMC運営室 課長
深川いずみ

金沢市出身。日本大学藝術学部放送学科卒業後、地元放送局でテレビ、ラジオの番組制作に従事した後、2004年に金沢工業大学に入職。2014年より現職。趣味は音楽・美術・映画・ドキュメンタリー鑑賞、車、散歩、スポーツ観戦。

工学科と電気電子工学科の学生がボディソニックやジュークボックスなどの機器の修理やメンテナンスを行ったり、展示材を制作するなど、鑑賞や研究での利用以外にも、様々な問い合わせに対応する受付業務やデータベース化、重いレコードの運搬作業まで、学生たちにはPMCに深く関わってもらっています。

2017年に本学が主催し、約6万人の来場者を集めた『世界を変えたレコード展』(※3)も、学生の手によるもので、建築学科の研究室に所属する学生たちが、立川直樹さんとともに1年の準備期間をかけて空間構成や展示方法を考えました。立体的な展示にこだわって、レコードジャケットを宙に浮かせて表裏が見えるようにしたり、50メートルもの長さの年表を登場させるなど、建築を学ぶ学生ならではのアイデアが存分に生かされた展覧会となりました。その結果、幅広い年齢層の方にご来場いただき、今なお根強いレコード文化への愛着や近年のアナログブームを実感できました。学生の発想を生かしたおかげで、若い世代の方にも大変好評でリピーターも多かったです。同時にPMCの存在も知っていただけて、この展覧会以降、関西方面からの来館者や寄贈が増えました。



一人の世界に没頭して音楽を体感できるボディソニック

一同展覧会会場には寄贈された方から寄せられた手紙を飾るコーナーがあり、その文面からもレコードへの愛着やPMCへの信頼感が伝わってきました。これらの充実ぶりや信頼感を踏まえて、今後、より発展していくためのお考えはありますか。

今は特に、アナログレコードブームとリンクして、一般の方の利用が増えていることもあって、学生の学びへどのようにつながられるかを考えながら、世間にPMCのアーカイブをすべて公表したいと考えています。そのためには新しい形のジャケットアート展の開催や、より利用しやすいデータベースの構築も重要です。

また、PMC創立時から掲げる「技術とアート」という切り口をより革新したいと考えています。音楽を楽しむこと自体、蓄音機が発明されて以来の工業技術の進歩とともにあるので、工業大学としては無関係ではありません。本学ではAIの授業



趣のあるフロアには約1万5千枚のレコード等を配架

が必須になりましたが、例えば“指差しするとレビューを話すAIシステムの研究”などでも施設を活用してもらえるのでうれしいです。未来という意味では、地元金沢で育ってゆく子どもたちに楽しんでもらえる企画も考えていきたいです。

一最後に、金沢ならではの音楽的風土についてどのように思われているのかお聞かせください。

金沢は、春にはクラシックの音楽祭、秋にはジャズストリートがあります。ロックバーやレコードショップも多く、また味噌線をはじめ伝統芸能が盛んです。子どもの頃から習い事で演奏に親しんだ人が多いので、いろいろな音楽が自然に根づいている街だと思います。音楽好きな方はぜひ金沢に来た際にPMCにもお立ち寄りいただけたらうれしいです。

(※1) 2004年～2007年FM石川他全国6局ネットで放送。

(※2) えふえむ・エヌワン(76.3MHz)「KIT PMC レコード・ボックス」(月～金 AM5時～6時ほか)

(※3) 「レコードコレクションからたどるポピュラーミュージックの歴史」をテーマに、2017年6月21日から7月23日にかけて、グランフロント大阪北館で開催。同大主催で日本科学術ジャーナリスト会議 科学ジャーナリスト大賞を受賞した「世界を変えた書物展」がきっかけとなった

金沢工業大学 PMC (ポピュラー・ミュージック・コレクション)

【住所】石川県野々市市扇が丘7-1
金沢工業大学ライブラリーセンター3階

【公式ホームページ】
<https://kitnet.jp/pmc/>

【開館時間】平 日:午前8時30分～午後6時30分
土曜日:午前8時30分～午後5時
日・祭日:午前10時～午後5時

※上記開館時間は季節によって変更することがあります。

※ライブラリーセンター1Fのインフォメーションカウンターにて受付により一般客の利用可





開催間近! 熱い演奏で秋の金沢を彩る

金沢 JAZZ STREET

季節が夏から秋へと移り変わる9月中旬、10万人もの人々を集める「金沢JAZZ STREET」が開催される。国内外の一流アーティストのみならず、毎年大人気の学生ビッグバンドなど、アマチュアバンドも多数出演。今年で11年目を迎える「金沢JAZZ STREET」の仕掛け人の一人で、NPO法人 金沢JAZZ連盟副理事長の新谷美樹氏にお話を聞いた。

30数年ほど前にプロのオーケストラである「オーケストラ・アンサンブル金沢」が設立。その後、本拠地となる石川県立音楽堂が建てられ、また再開発された金沢駅周辺でクラシック音楽の祭典「ラ・フォル・ジュルネ」が毎年5月に開催されるようになるなど、駅前には活性化していききました。反面、片町・香林坊といったエリアには沈滞したムードが漂っていました。そういった空気の流れるなか、金沢市民芸術村(※)の企画・運営をしていた私は、音楽を通じた青少年育成事業を求められ、2005年にジュニアジャズバンド「JAZZ-21」を立ち上げます。

当初は「子どもにジャズなんてできるの」などとも言われましたが、その予想を裏切るかのようにバンドは徐々に成長し、国内ジャズフェスティバルへの参加や、日本を飛び出して欧米で演奏するなど話題にさせていただく機会も増えてきました。それを見た当時の金沢市長から「春のゴールデンウィークにはラ・フォル・ジュルネがある。片町・香林坊周辺を活気づけるために秋のシルバーウィークに、ジャズで何かできないか?」と打診され、各地での活動経験を基にジャズフェスティバルを提案したのがJAZZ STREETの始まりです。

成功の理由は、やはり「金沢だったから」だと思います。例えば、JAZZ-21を始めてしばらくすると「来年アメリカに行こうか」と行政が後押ししてくれました。金沢という地域は文化への柔軟性が高く、伝統がありながらも新しい挑戦をフットワークよく後押ししてくれるいい環境だと思います。そのことが、「絶対にジャズ発祥の地・アメリカで演奏する」というJAZZ-21開始当初のコンセプトにも通じていたのです。また、国内外の活動で交流の輪が広がり、各地でネットワークを

作ることもできました。そのネットワークはJAZZ STREETでも生きていて、今年は、国際的に大活躍されている挟間美帆さんにジャズアレンジをお願いした「六段の調べ」にも挑戦します。また、JAZZ-21に参加した子どもたちが大人になり、各地の大学のビッグバンドの一員としてJAZZ STREETに戻ってくる、といういいサイクルも生まれています。

歴史のなかに新しいものを織り込む、そして、風通しのいいフットワークの良さを生かした金沢独自のネットワーク構築、大きくこの2点が金沢のやり方だと思っています。JAZZ STREETは、この10年間で北陸新幹線が開通したこともあり、人を呼び込んで賑わいを生むという目標は達成したかと。これからは、金沢発となる人材育成と、より一層の金沢らしさを出すことに本格的に取り組めればと思っています。

※金沢市民芸術村…市民が演劇や音楽、美術などの芸術活動を行える施設として1996年に誕生。年間およそ20万人が利用する地域の文化発信・交流拠点となっている。



金沢ジャズストリート・プロデューサー(※)
新谷 美樹夫

2000年に「杉原千畝生誕100年記念事業 カウントバイシー・オーケストラ6000人の命のビザ・ジャズコンサート」の音響を務める。2009年に金沢ジャズストリートの実行委員に、2017年からはプロデューサーを担当。2004年~11年にミュージック工房ディレクターに就任、ジュニア・ジャズ・オーケストラ「JAZZ-21」の立ち上げ、運営。

※そのほかNPO法人 金沢JAZZ連盟 副理事長、日本音響家協会会員、JAZZ-21プロジェクト・代表も務める

金沢 JAZZ STREET 2019 <イベント概要> 公式ホームページ <https://kanazawa-jazzstreet.jp/>

- 【 日 時 】 2019年9月14日(土)~16日(月・祝) ※9月13日(金)は前夜祭
- 【 場 所 】 石川県立音楽堂、北国新聞赤羽ホール等、金沢駅周辺や香林坊・片町エリア等金沢中心部の複数会場
- 【 内 容 】 有料・無料含む150超のライブ、イベント
- 【 主 催 】 金沢JAZZ STREET実行委員会
- 【 共 催 】 金沢市/金沢市教育委員会/(一財)石川県芸術文化協会/(一財)北国芸術振興財団/北国新聞社
- 【 後 援 】 北陸放送/テレビ金沢/エフエム石川/ラジオかなざわ/ラジオこまつ/ラジオななお/金沢ケーブル/えふえむエヌ・ワン
- 【 特別後援 】 アメリカ大使館/ベルギー大使館/スペイン大使館/デンマーク大使館
- 【 特別協力 】 NPO法人 金沢JAZZ連盟/金沢市音楽文化協会
- 【 協 力 】 金沢中心商店街まちづくり協議会/金沢中心商店街武蔵活性化協議会/金沢商業活性化センター/近江町市場商店街振興組合/柿木島振興会/片町商店街振興組合/金沢駅前にぎわい協議会/香林坊商店街振興組合/新天地商店街振興組合/堅町商店街振興組合/広坂振興会/南町通り商工会/横安江町商店街振興組合/金沢市旅館ホテル協同組合/金沢ホテル懇話会/金城樓/ANAクラウンプラザホテル金沢/NPO法人金沢アートグミ/金沢蓄音器館/(一社)日本パーテナー協会石川支部/ポルテ金沢/片町きらら
- 【 特別協賛 】 北陸銀行/キリンビール

<https://www.facebook.com/kanazawa.jazzst/>

https://twitter.com/kanazawa_jazzst



「一般社団法人アーティストコモンズ」発足

8月1日、一般社団法人日本音楽事業者協会、一般社団法人日本音楽制作者連盟、一般社団法人コンサートプロモーターズ協会の音楽・エンタテインメント関係3団体は、音楽エンタメ関連5団体、2企業と共に、円滑なメディア・コンテンツサービス連携の実現を目的とする新団体「一般社団法人アーティストコモンズ」を共同で設立した。当協会は準社員として参加する。

本団体は、アーティストの才能と魅力を広く知らしめ、その付加価値を最大化することによりエンタテインメント産業文化振興、およびその継承・保全に貢献するべく設立された。2014年10月より、共通のアーティストID「AC-ID」の付番と連携プログラム「AC-API」の開発・実証を重ねており、インターネットラジオサービス「radiko」ブラウザ版においてオンエア楽曲に連動した関連公演・チケット情報提供の試験サービスを実施している。

■主な事業

- ①アーティストID「AC-ID」の付番
- ②様々なメディア・サービス連携を可能にするAPI「AC-API」の提供
- ③公式のアーティスト写真、プロフィールを規定の利用条件に沿って提供

■「AC-ID」活用メリット

- ①利用状況の把握
動画配信サービスにおける出演者、楽曲の利用状況の把握。オフィシャルでない写真利用の抑止などが可能となる。
- ②アーティストのマーケット拡大
ライブビューイング・音楽サブスクリプション・イベントのチケット・ニュース・チャート・SNS・マーチャンダイジング・放送・動画配信等、様々なメディア・サービスが容易に連携する基盤を提供。



8月7日には団体設立に際して事業説明会および懇親会が開催された

<一般社団法人アーティストコモンズ 概要>

社員：一般社団法人日本音楽事業者協会 (JAME)、一般社団法人日本音楽制作者連盟 (FMPJ)、一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 (ACPC)

準社員：一般社団法人日本レコード協会 (RIAJ)、一般社団法人日本音楽出版社協会 (MPA)、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会・実演家著作権隣接権センター (CPRA)、一般社団法人著作権情報集中処理機構 (CDC)、一般社団法人日本音楽著作権協会 (JASRAC)、株式会社レコチョク、株式会社NexTone

▶一般社団法人アーティストコモンズ <https://acom.jp/>

「第26回日本プロ音楽録音賞」開催決定

一般社団法人日本オーディオ協会、一般社団法人日本音楽スタジオ協会、特定非営利活動法人日本レコーディングエンジニア協会、一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPNおよび当協会の5団体が主催する「第26回日本プロ音楽録音賞」の開催が決定した。

同賞は、音創りを通じて音楽とオーディオ文化の向上に努める録音エンジニアの感性と技術を評価し、音楽制作および録音に対する一般ユーザーの認識を高めることにより、音楽とオーディオ産業のソフト分野における一層の技術の向上並びに次世代エンジニアの発掘を図ることを目指すものである。

日本国内において企画され、2018年9月1日から2019年8月31日までの間に初めて国内で発売（2019年9月30日までにサンプル盤が配布されているものを含む）、または公に放送・配信された（2019年9月30日までに放送が決定されているものを含む）音楽録音作品が審査の対象となる。

応募作品の分類および授賞区分日本プロ音楽録音賞に関する情報は下記URLを参照。

▶日本音楽スタジオ協会 <https://www.japrs.or.jp/>

<応募作品の分類および授賞区分>

■CD部門

(いずれもCD)クラシック、ジャズ、フュージョン/ポップス、歌謡曲

■ハイレゾリューション部門

(2chサウンド/SACD、DVD、BD&ノンパッケージ作品)
クラシック、ジャズ、フュージョン/ポップス、歌謡曲

■放送部門

2chステレオ(ラジオ番組:AM、FM、衛星放送/有線放送/
テレビ番組:地上波、衛星放送)
マルチchサラウンド(テレビ番組:地上波、衛星放送)

■ベストパフォーマー賞

CD部門、ハイレゾリューション部門の全応募作品より
ベストパフォーマーを選定

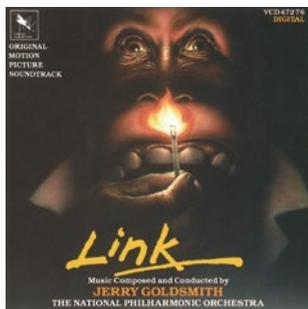
■ニュー・プロミネントマスター賞

CD部門、ハイレゾリューション部門の全応募作品より、過去に受賞経験が無く、独自の感性と技術を有し、今後の音楽文化発展の担い手として期待されるエンジニアの作品を選定

■アナログディスク特別賞

2chステレオ:ジャンル問わず/アナログディスク作品
運営委員会が推薦を依頼したカッティング業務関連各社および各オーディオ専門誌からの全推薦作品より作品を選定

私わたしの一枚いちまい season2



『リンク』(サウンド・トラック)
ジェリー・ゴールドスミス

「一番好きなサントラは何ですか?」と聞かれることほど答えに窮することはありません。「私の一枚」これもなかなか難しいお題目です。

弊社は18年前の創業時から一貫して劇伴と言われるサウンドトラック盤をリリースし続けてきました。私がサントラ盤に興味を持ったのは、父に連れられて観に行った映画『ジョーズ』のテーマ曲が怖すぎて映画館のシートに身をうずめていたあの瞬間からかもしれません。極論かもしれませんが、ずっと私は劇伴サントラは「20世紀のクラシックになる」と言い続けて来ました。壮大な編成で演奏され、例えば『スター・ウォーズ』のテーマ曲は誰もが知っている……まさに何世紀にもわたり受け継がれて行く音楽だと思うからです。

しかし、ここで「私の一枚」としてご紹介したいのは『ジョーズ』でも『スター・ウォーズ』でもなく、『リンク』というサウンドトラック盤です。

86年の映画で、映画館でアルバイトをするほど映画好きだった私はまだ大学生で、同映画は当時住んでいた大阪でも一館のみの公開という小規模公開のものでした。ストーリーは、異常な知能指数を持ち、火までも扱えるチンパンジーが起こす動物パニック映画とも言えるの

佐渡 和広

株式会社ランプリング・レコーズ 代表取締役



ですが、その音楽を担当していたのがジェリー・ゴールドスミスという20世紀の映画音楽界を代表する巨匠です。代表作には『猿の惑星』や『オーメン』『トータル・リコール』や『氷の微笑』など枚挙に暇がありません。『リンク』で奏でられたその音楽においては、人間をも支配しようとするチンパンジーの不気味さ、しかも、どこか動物の野性味すらも感じさせるメロディで、とにかく鑑賞後の私の脳裏からその不思議な音楽が離れず、作曲家ジェリー・ゴールドスミスの一層のファンになり、サントラという音楽に一層の興味を持ち始めた作品でもあります。とにかく、同作品のサントラ盤が欲しくて仕方なく、しかし、日本盤は発売されておらず、輸入盤を扱う店舗でも見つからず、結局ようやく手に入れることが出来たのは、翌年、当時アメリカのニューヨーク大学の側にあったタワーレコードでした。初めてのニューヨーク訪問でやることといえばレコード店巡り。そこで、音と同様、とにかく強烈なインパクトのあるジャケットの『リンク』のサントラ盤を見つけた時はまさに涙が出るほど嬉しく、当時、アメリカではCDは縦長の紙のケースに入れて販売されていたので、その紙ケースすらいつまでも大事に保管しているほどでした。

あれから約30年が経過し、弊社はサントラ盤を多く出すレーベルとして一部の方には少しずつご認識頂けるようになりました。そして『リンク』をリリースしていたアメリカのサントラ専門レーベルとも何の因果か、約20年以上に亘りレーベル契約という形でお付き合いを頂き現在に至っております。

確かにパッケージが売れなくなり、欲しい作品を血眼になって足を運んで探すという時代ではないですが、弊社としてはその「20世紀のクラシック」を大事に皆様にお届けし、多岐にわたる音楽ジャンルを含有するサントラの楽しみ方を少しでも多くの方と共有することが出来ればと常々願っております。

Data File

2019年第2四半期 音楽配信売上実績

2019年第2四半期は、数量で前年同期比87%の2,831万5,000ダウンロード、金額で前年同期比107%の171億8,600万円となった。この結果、2019年上半期の累計では、数量で前年比85%の5,944万6,000ダウンロード、金額で前年比106%の340億600万円となった。

(数量:千回,金額:百万円)

	形態	2019年第2四半期(4月~6月) 累計				
		数量	前年同期比	金額	前年同期比	
	Master ringtones	528	64%	56	66%	
	Ringback tones	4,621	80%	312	79%	
ダウンロード	シングルトラック	PC・スマートフォン	21,108	89%	3,403	89%
		フィーチャーフォン	95	63%	23	60%
		小計	21,203	89%	3,426	89%
	アルバム	PC・スマートフォン	1,807	89%	2,083	90%
		フィーチャーフォン	0	-	0	-
		小計	1,807	89%	2,083	90%
	音楽ビデオ	PC・スマートフォン	153	73%	49	78%
		フィーチャーフォン	3	58%	1	56%
		小計	156	73%	50	78%
		ダウンロード計	23,166	89%	5,558	89%
ストリーミング	サブスクリプション/音楽			9,713	123%	
	サブスクリプション/音楽ビデオ			310	230%	
	広告収入/音楽			411	463%	
	広告収入/音楽ビデオ			778	111%	
	ストリーミング計			11,213	127%	
	その他			47	10%	
	合計	28,315	87%	17,186	107%	

(数量:千回,金額:百万円)

	形態	2019年上半期(1月~6月) 累計				
		数量	前年同期比	金額	前年同期比	
	Master ringtones	1,147	64%	122	65%	
	Ringback tones	9,554	76%	644	75%	
ダウンロード	シングルトラック	PC・スマートフォン	44,274	88%	7,162	88%
		フィーチャーフォン	208	60%	51	58%
		小計	44,483	88%	7,213	88%
	アルバム	PC・スマートフォン	3,914	92%	4,441	90%
		フィーチャーフォン	0	-	0	-
		小計	3,914	92%	4,441	90%
	音楽ビデオ	PC・スマートフォン	342	77%	105	81%
		フィーチャーフォン	6	58%	2	57%
		小計	349	76%	107	80%
		ダウンロード計	48,746	88%	11,762	88%
ストリーミング	サブスクリプション/音楽			18,540	124%	
	サブスクリプション/音楽ビデオ			554	200%	
	広告収入/音楽			625	421%	
	広告収入/音楽ビデオ			1,660	122%	
	ストリーミング計			21,379	128%	
	その他			98	10%	
	合計	59,446	85%	34,006	106%	

備考 1. 本統計は、会員会社の実績をとりまとめたもの。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

注: 数量・・・ダウンロード回数

Monthly Production Report 2019年7月度レコード生産実績

7月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)の生産実績は、数量で前年同月比95%の1,678万枚・巻、金額で前年97%の200億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比93%の1,229万枚・巻、金額で同88%の135億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比101%の449万枚・巻、金額で同123%の66億円となっている。

オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

	7月実績						2019年1月~2019年7月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
8cmCD シングル	邦	1	0	77%	1	0	82%	13	0	55%	8	0	13%
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	計	1	0	77%	1	0	82%	13	0	56%	9	0	13%
12cmCD シングル	邦	5,099	42	113%	4,394	33	114%	25,892	31	88%	21,927	24	92%
	洋	1	0	119%	1	0	111%	831	1	3122%	690	1	2659%
	計	5,100	42	113%	4,395	33	114%	26,723	32	91%	22,617	24	94%
シングル 計	邦	5,100	42	113%	4,395	33	114%	25,905	31	88%	21,936	24	91%
	洋	1	0	119%	1	0	111%	831	1	3122%	690	1	2660%
	計	5,101	42	113%	4,396	33	114%	26,736	32	91%	22,626	24	94%
12cmCD アルバム	邦	6,208	51	81%	7,913	59	76%	48,055	58	112%	60,768	65	105%
	洋	865	7	93%	955	7	104%	7,565	9	90%	7,805	8	87%
	計	7,073	58	83%	8,868	66	79%	55,620	67	108%	68,572	74	102%
CD計	邦	11,308	92	93%	12,308	91	87%	73,960	89	102%	82,704	89	101%
	洋	866	7	93%	956	7	104%	8,396	10	99%	8,495	9	95%
	計	12,174	99	93%	13,264	99	88%	82,356	99	102%	91,198	98	100%
アナログ ディスク	邦	22	0	56%	46	0	81%	303	0	98%	582	1	96%
	洋	43	0	122%	79	1	120%	305	0	106%	568	1	111%
	計	64	1	88%	126	1	102%	608	1	102%	1,149	1	103%
カセット テープ	邦	21	0	85%	16	0	77%	216	0	79%	185	0	85%
	洋	0	0	8%	0	0	9%	5	0	272%	9	0	418%
	計	21	0	84%	16	0	76%	221	0	80%	194	0	88%
その他	邦	6	0	93%	10	0	113%	72	0	101%	138	0	118%
	洋	20	0	82%	36	0	73%	152	0	89%	270	0	78%
	計	26	0	84%	47	0	79%	224	0	92%	408	0	88%
合計	邦	11,356	92	93%	12,381	92	87%	74,550	89	102%	83,608	90	101%
	洋	928	8	94%	1,072	8	104%	8,858	11	99%	9,342	10	95%
	計	12,285	100	93%	13,452	100	88%	83,409	100	102%	92,950	100	100%

音楽ビデオ

	7月実績						2019年1月~2019年7月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
DVD	邦	3,009	67	88%	3,344	51	120%	17,059	66	73%	20,021	47	79%
	洋	19	0	117%	36	1	175%	441	2	221%	803	2	322%
	計	3,029	67	88%	3,379	51	120%	17,500	67	74%	20,824	49	81%
ブルーレイ ディスク	邦	1,452	32	142%	3,171	48	125%	8,356	32	117%	20,775	49	107%
	洋	10	0	296%	37	1	559%	154	1	127%	579	1	323%
	計	1,462	33	143%	3,208	49	126%	8,509	33	118%	21,354	51	109%
テープ・その他	邦	0	0	-	0	0	-	0	0	0%	0	0	0%
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	0%	0	0	0%
	計	0	0	-	0	0	-	0	0	0%	0	0	0%
合計	邦	4,462	99	100%	6,515	99	122%	25,415	98	83%	40,796	97	91%
	洋	29	1	147%	73	1	269%	594	2	186%	1,382	3	322%
	計	4,490	100	101%	6,588	100	123%	26,009	100	84%	42,177	100	93%

音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	7月実績						2019年1月~2019年7月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
オーディオレコード計	12,285	73	93%	13,452	67	88%	83,409	76	102%	92,950	69	100%	
音楽ビデオ計	4,490	27	101%	6,588	33	123%	26,009	24	84%	42,177	31	93%	
合計	邦	15,818	94	95%	18,895	94	96%	99,965	91	97%	124,403	92	97%
	洋	957	6	95%	1,145	6	108%	9,453	9	102%	10,723	8	105%
	計	16,775	100	95%	20,040	100	97%	109,418	100	97%	135,127	100	98%

ビデオレコード(含音楽ビデオ)

	7月実績						2019年1月~2019年7月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	5,158	63	81%	5,840	43	102%	34,368	67	83%	38,914	46	84%
ブルーレイディスク	2,988	37	158%	7,683	57	150%	17,118	33	120%	45,257	54	109%
テープ・その他	0	0	-	0	0	-	0	0	38%	0	0	27%
合計	8,147	100	99%	13,523	100	124%	51,486	100	92%	84,172	100	96%

オーディオ/ビデオレコード合計

	7月実績						2019年1月~2019年7月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオレコード計	12,285	60	93%	13,452	50	88%	83,409	62	102%	92,950	52	100%
ビデオレコード計	8,147	40	99%	13,523	50	124%	51,486	38	92%	84,172	48	96%
合計	20,432	100	95%	26,975	100	103%	134,895	100	98%	177,121	100	98%

備考 1.本統計は、当協会会員社の集計である。会員社が受託した非会員社からの販売受託分を含む。
2.単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
3.オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

音楽ソフト

シングル | 邦楽

カテゴリ	タイトル	アーティスト	リリース日	レーベル
ミリオン	Lights / Boy With Luv	BTS	2019.07.03	ユニバーサル ミュージック
ダブル・プラチナ	ドレミソラシド	日向坂46	2019.07.17	ソニー・ミュージックレーベルズ
プラチナ	Buenos Aires	IZ*ONE	2019.06.26	ユニバーサル ミュージック
	FRUSTRATION	SKE48	2019.07.24	エイベックス・エンタテインメント
	大好きな人	STU48	2019.07.31	キングレコード
	HAPPY HAPPY	TWICE	2019.07.17	ワーナーミュージック・ジャパン
	Breakthrough	TWICE	2019.07.24	ワーナーミュージック・ジャパン
ゴールド	HANDS UP	Kis-My-Ft2	2019.07.10	エイベックス・エンタテインメント
	ゴメン、。離したくない	MAG!C☆PRINCE	2019.06.04	ユニバーサル ミュージック

アルバム | 邦楽

プラチナ	aurora arc	BUMP OF CHICKEN	2019.07.10	トイズファクトリー
ゴールド	IGNITE	KAT-TUN	2019.07.31	ジェイ・ストーム
	すとりべりーらぶっ!	すとぶり	2019.07.03	ユニバーサル ミュージック
	天気の子	RADWIMPS	2019.07.19	ユニバーサル ミュージック

ビデオ | 邦楽

ゴールド	ジャニーズWEST LIVE TOUR 2019 WESTV!	ジャニーズWEST	2019.07.10	ジェイ・ストーム (ジャニーズエンタテインメント・レコード)
	Hey! Say! JUMP LIVE TOUR SENCE or LOVE	Hey! Say! JUMP	2019.07.24	ジェイ・ストーム

※日付けは発売日

有料音楽配信

シングルトラック | 邦楽

トリプル・プラチナ	LOSER	米津玄師	2016.09.28	ソニー・ミュージックレーベルズ
ダブル・プラチナ	HAPPY BIRTHDAY	back number	2019.02.19	ユニバーサル ミュージック
	アイデア	星野 源	2018.08.20	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
	Flamingo	米津玄師	2018.10.31	ソニー・ミュージックレーベルズ
プラチナ	ソラニン	ASIAN KUNG-FU GENERATION	2010.03.31	ソニー・ミュージックレーベルズ
	白日	King Gnu	2019.02.22	ソニー・ミュージックレーベルズ
	アイデンティティ	サカナクション	2010.07.07	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
	Over Drive	JUDY AND MARY	2005.04.18	ソニー・ミュージックレーベルズ
	まちがいさがし	菅田 将暉	2019.05.14	ソニー・ミュージックレーベルズ
	パブリカ	Foorin	2018.08.13	ソニー・ミュージックレーベルズ
	海の幽霊	米津玄師	2019.06.03	ソニー・ミュージックレーベルズ
	ゴールド	RESISTER	ASCA	2019.01.13
ノーダウト		Official髭男dism	2018.04.11	ポニーキャニオン
Pretender		Official髭男dism	2019.04.17	ポニーキャニオン
インフィニティ #7		シェリル・ノーム starring May'n / ランカ・リー=中島 愛	2008.12.03	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
秘密基地		高田 梢枝	2005.05.11	ソニー・ミュージックダイレクト
アジアの純真		PUFFY	2003.12.24	ソニー・ミュージックダイレクト
清廉なるHeretics		Fate/Grand Order	2017.11.29	アニプレックス

※日付けは配信開始日

認定基準一覧 音楽ソフト(アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®、シングルトラック・アルバム)共通

名称	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ミリオン	2ミリオン
基準	10万以上	25万以上	50万以上	75万以上	100万以上	200万以上

基準単位:音楽ソフト・枚、配信、DL(ダウンロード数)

備考 1. 着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

2. 「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です

3. 3ミリオン以降、100万毎に認定

編集後記

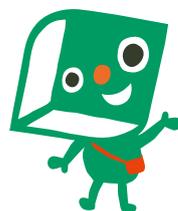
約2年振りとなった「日本全国音楽のまち」特集、今回は石川県金沢市にフォーカスしました。北陸新幹線で東京から2時間半とアクセスも容易であるためか、移動中は多くの外国人観光客の方と遭遇しました。今回お話を伺った全員が口を揃えておっしゃっていましたが、古くから築き上げてきた日本古来の文化的土壌に新たな魅力がプラスされることで、金沢ならではのユニークな体験が生まれ、そこに人が集まるのだと実感しました。個人的には年に数回訪れている北陸の地。数々の音楽イベントも非常に楽しみですが、今度はぜひカニの美味しい季節にお邪魔できればと思います。(M)

THE RECORD No.718 2019年9月号

一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 重村 博文
編集人 原 康晴
発行日 2019年9月10日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001
東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9階
TEL.03-5575-1301(代) FAX.03-5575-1313
URL:<https://www.riaj.or.jp/>

編集協力 株式会社金羊社 / ヤマモトカウンシル



エルマークキャラクター
エルマーくん